

## 目標達成計画

作成日：平成 30 年 4 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	スピーチロックを掛けてしまっている。	言葉の拘束、行動制限を抑制しない対応をする。	言葉だけでなく接し方、表情等にも気を配る。言葉を言い換え工夫する。意識する。	0ヶ月
2	33(12)	終末期、重度化ケアを行ってない。	今後、往診の医療機関と連携し終末期、重度化ケアに向けて取り組んで行きたい。	終末期、重度化について情報収集する。法人として出来る事、出来ない事を明確になる。指針等を作成する。家族と話し合いを持つ。	12ヶ月
3	36(14)	食事介助時にエプロンをする事で本人の力を他、利用者に知らしてしまっ。プライバシー配慮に欠けてしまっていた。	食事介助時にエプロンを使用しない。	エプロンを中止しスタイ、タオルに変更する。利用者側の気持ちを考える。プライバシーの確保に努める。	0ヶ月
4	48	近年、自宅から初めての施設として当ホームを利用する方が多くなっている。	自宅により近い生活を支援する。生活に張り合いを持たせる。	生活歴や家族から聞きとり利用者、本人の力を探り楽しみ事を見つけていく。	0ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。